

岩手県立大学地域政策研究センター長挨拶  
「地域協働研究」  
研究成果報告集の発刊によせて



地域政策研究センターは、本学の「県民のシンクタンク」としての機能を強化していくために平成23年4月に設立され、本学の教員がそれぞれの専門領域から、地域課題対応型・解決型の研究に携わっております。

当センターでは平成24年度から新たに、本学教員が提案する地域課題対応型の研究と併せて、「地域協働研究」を立ち上げました。これは、自治体・NPO・企業等の地域団体と本学の教員が「協働」して地域課題に取り組む研究ですが、教員がテーマを決める「教員提案型」と、地域団体等からテーマを提案いただき、教員とマッチングして研究を実施する「地域提案型」の二つから構成されております。いずれも本学の研究予算で研究を実施するものです。

「地域提案型」は、地域の方々の日々の生活や地域づくりの活動の実践から出された地域課題を、本学の教員と連携して取り組むものであり、地域のニーズに対応した研究に取り組むという本学及び当センターの姿勢を具現化したものです。

この度、「地域協働研究」の成果を報告集として纏めることができました。研究領域は、震災復興、看護、福祉、医療、介護、観光、環境、歴史、産業など多岐に渡っておりますが、いずれも地域が抱えている諸課題に真正面から取り組んだものであり、震災復興も含め地域のニーズに寄り添う研究を推進するという当センターの設置目的に一歩近づくことを目指したものです。

今後は、皆様のご意見を頂戴しながら、より地域のニーズに対応した研究として充実していくように改善していきたいと考えております。どうか、忌憚のないご意見、ご批判をお寄せいただきますことをお願いいたします。

岩手県立大学地域政策研究センター長 植田 眞 弘